JR東日本ニュース

2020 年 10 月 1 日
東日本旅客鉄道株式会社

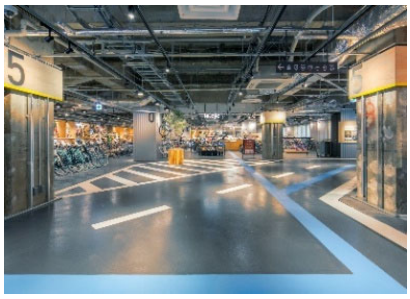
「2020 年度 グッドデザイン賞」の受賞について

2020 年度グッドデザイン賞において**「高輪ゲートウェイ駅」・「電車専用トレーニングアプリ ['TRAIN'ing]」・「プレイアトレ土浦」・「エキラボ niri / 西日暮里スクランブル / 西日暮里エキマド」・「視覚障害者誘導用ブロック バリフリカバー」**の 5 件が「グッドデザイン賞」を受賞しました。

GOOD DESIGN AWARD
2020年度受賞

高輪ゲートウェイ駅

電車専用トレーニングアプリ
['TRAIN'ing]


プレイアトレ土浦

エキラボ niri / 西日暮里スクランブル / 西日暮里エキマド

視覚障害者誘導用ブロック
バリフリカバー

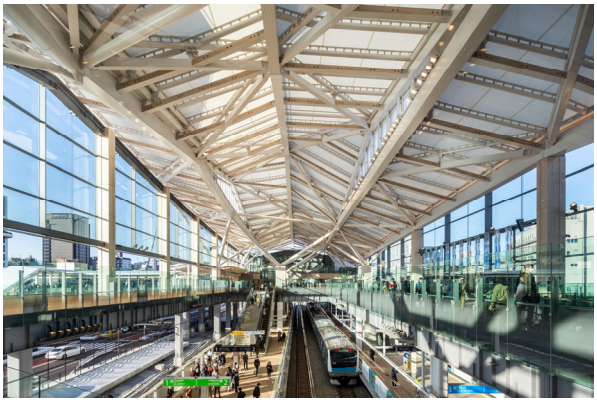
※「高輪ゲートウェイ駅」は㈱JR 東日本建築設計、JR 東日本コンサルタンツ㈱、㈱隈研吾建築都市設計事務所、㈱ライティング プランナーズ アソシエーツとの共同応募です。

※「エキラボ niri / 西日暮里スクランブル / 西日暮里エキマド」は㈱ジェイアール東日本都市開発、㈱HAGI STUDIO、ソニフィデア合同会社との共同応募です。

※「プレイアトレ土浦」は㈱アトレの単独応募です。

※「視覚障害者誘導用ブロック バリフリカバー」は当社が技術開発した成果をライセンス先の㈱ニチマンラバーテックが商品化した製品であり、当社はデザイナーとしての受賞となります。

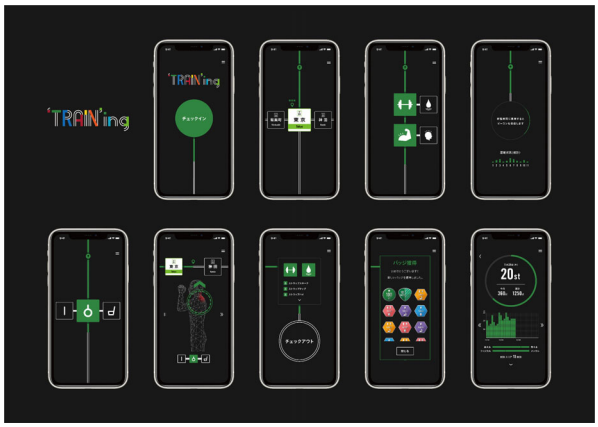
■**「高輪ゲートウェイ駅」**は、高輪・品川エリアのまちづくりを進める「品川開発プロジェクト」におけるあたらしい街の核として、東京と世界をつなぐ玄関口となることを目指し、山手線 田町～品川駅間に開業した新駅です。駅の意匠では、駅と街をシームレスにつなげ、人の賑わいをあたらしい街に境目なく連続させるため大屋根を採用するなど、駅のコンセプトである「エキマチ一体」を実現するための工夫を施しました。また、駅構内は大屋根と大きなガラス面、他の駅にはない象徴的な吹き抜けにより、ご利用になるお客さまに開放感を体験していただける空間となっています。今回、このような新たな駅の考え方や空間デザインが評価されました。



【グッドデザイン賞審査委員　評価コメント】

　生活を支えるモビリティが大きく変わろうとしている今、鉄道駅舎の機能やプログラムも大きく変貌しつつあり、自ずと駅のデザインにも大きな変化が必要となっている状況に至っている。 ここでは、「エキマチ一体」の新しいタイプの駅舎を目指して、特徴的な膜構造の屋根の下に広がる明るい空間の下に、吹き抜けにより駅の主要な機能である人の流れや周辺施設とのつながりが可視化されたデザインが実践されている。これは新たな駅の在り方、デザインを目指すものとして、評価に値すると考えた。

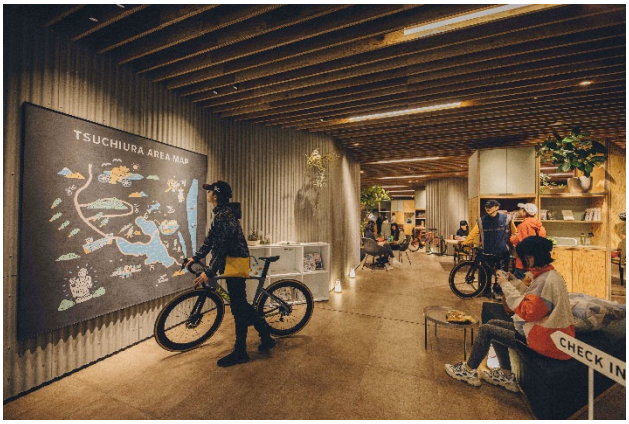
■**「電車専用トレーニングアプリ　['TRAIN'ing]」**は、「移動空間を成長空間に変える」をコンセプトとした、山手線車内で利用できる電車専用トレーニングアプリです。山手線車内に設置しているビーコンなどを利用することで、乗車位置（つり革、手すり、座席）・乗車時間・混雑度に適したトレーニングメニューを提供します。電車専用トレーニングアプリというユニークなサービスであること、ビーコン等の最新テクノロジーが活用されていること、音声ガイドを中心としたわかりやすいデザインであることなどが評価されました。



【グッドデザイン賞審査委員　評価コメント】

　「移動空間から成長空間に変える」電車専用トレーニングアプリという、これまでにないコンセプトによるサービスデザインとして評価した。ビーコン技術を活用した乗車区間、位置に応じて一人一人に最適化されるトレーニングプログラム、インターフェースデザイン、UX デザイン含めてわかりやすくデザインされている。まだ試験導入というところだが、リモートワークも増え混雑率も解消してきたなかで、今後アップデートして実装され、電車内でトレーニングする人が増える健康的で楽しい光景を期待したい。

■「プレイアトレ土浦」は、観光・交流の拠点として、駅と街に賑わいを創出することを目指した日本最大級のサイクリング特化施設です。あらゆるサイクリストの方に快適に使っていただけるよう工夫された空間設計と館内と街の境界線を意識させない一体感のあるデザインにより、土浦のブランディングに寄与している点が評価されました。

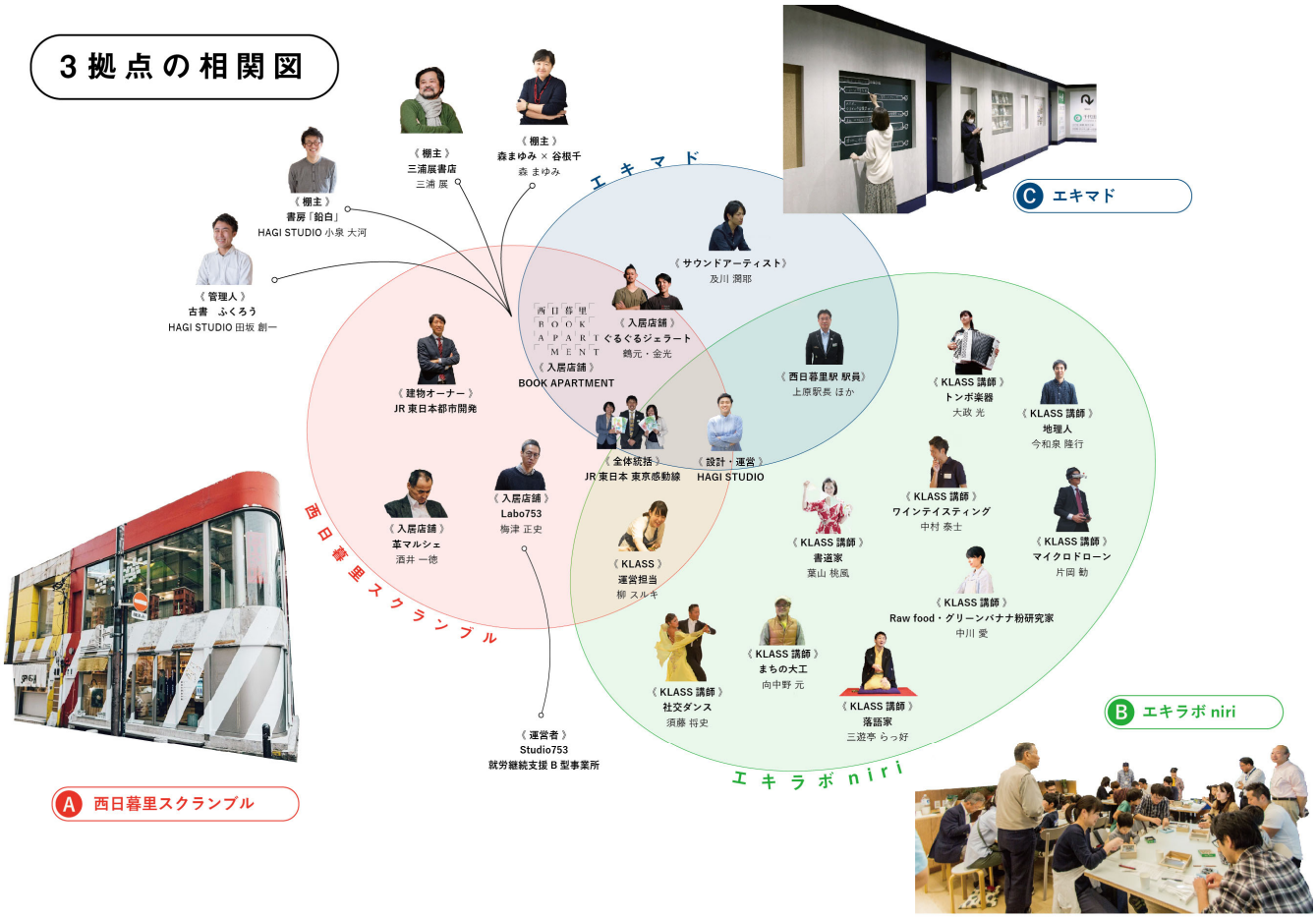


【グッドデザイン賞審査委員　評価コメント】

「それまでの駅ビルの概念を変えてきたのは、約 20 年前頃からのルミネ、アトレだ。圧倒的な集客を誇ってきたが、それは JR の駅の上であるという好条件が成しているというやっかみと、自社もそれだけではないというプライドとの葛藤があっただろうが、そのような誇りと自らへのチャレンジ、そして地域の発展という鉄道事業の本質、それらが合わさって、だからこのような特殊とも思える施設が誕生し得たのだろう。自転車が乗り入れる内と外が連続的に同一化する建築設計などをする機会というものはなかなかないだろうが、単にスポーツ施設ではないカルチャーとの融合もうまく実現させた、コトのための建築。土浦という地域のブランディングにも寄与しているだろう。」

■**「エキラボ niri / 西日暮里スクランブル / 西日暮里エキマド」**は、山手線を起点として、心豊かな都市生活空間を創造する「東京感動線」ブランドの一環として展開するプロジェクトです。今までの駅には、公共交通機関としての機能的な空間や、お客さまの利便性を向上する商業空間が求められてきましたが、これからの時代は「暮らしの拠点」としての駅の役割や「地域と駅との繋がり」についても重視されてきています。このような考えのもと、地域の方や駅のお客さまと一体となって、駅に併設した「場」（空間・機会・コミュニケーション）をデザインし、あらたな文化を醸成するコンテンツを発信しつづけています。大規模な開発によらず、駅での日常に新しいストーリーを呼び込むデザインに加え、こうした駅の新しい役割を、山手線を起点として東京に拡げていく可能性を含めて評価されました。

【グッドデザイン賞審査委員　評価コメント】エキナカ、駅前、ロードサイドと言うと、どこも似た風景が広がり、同じようなお店が出店している印象がある。それは機能的でもあるし、ニーズもあるだろうけれど、もっと個性があっても良いのじゃないか。特に西日暮里駅は谷根千エリアの玄関口と言える場所であり、地域には個性的な個人店が増えている。とはいえ、個人が駅前に出店するのは敷居が高い。そこで既存の建物を再利用し、投資を低減。さらに細かくスペースを分割することで１店舗当たりの家賃負担を下げた。結果として、地域の個性豊かな出店者で構成された場所となっている。



■**「視覚障害者誘導用ブロック　バリフリカバー」**は、㈱ニチマンラバーテックと当社が共同で開発に取り組んだ製品です。従来は工事中にバリアフリールートを一時的に変更する場合、既設の線状・点状ブロックを仮設材で覆い、その上に線状・点状ブロックを重ねて仮設のバリアフリールートを切り替えていたの対し、本製品は既設の点状・線状ブロックに被せるだけで長期にわたりバリアフリールートとして使えるものであり、駅を利用するお客さまの利便性や安全性を確実に担保する製品として、社会に貢献できる点が評価されました。

【グッドデザイン賞審査委員　評価コメント】駅や広場などの公共空間は、一層の安全性確保や公共空間の使いこなしが進むにつれて改修アップデートが望まれており、日本の各地で改修工事が頻発しているが工事期間中のデザインに関してはあまり配慮されているとは言えない。本製品は、工事を容易にし改修費用を削減しつつ、使用者の利便性や安全性を確実に担保する工事部材として画期的である。数年間にわたる工事期間に、美しく最適な公共環境を実現できる本製品は、細部にわたって機能とデザインが吟味されており、地味ながらも社会に大きく貢献するプロダクトした評価した。

※グッドデザイン賞について

　グッドデザイン賞は、１９５７年に通商産業省（現経済産業省）によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」を承継して、１９９８年より財団法人日本産業デザイン振興会が主催する、わが国で唯一の総合的デザイン評価・推奨制度です。